

大問一

問一 配点：10点

(1) 薰陶

(2)

帰途

(3)

弊害

(4) 寸前

(5)

妥協

(各2点)

【採点方法：解答通り】

トメ・ハネ・ハライの出来不出来は問わず、字形が合っていれば許容してよい。

問二 配点：4点

ア

【採点方法：解答通り】

問三 配点：9点

a

ウ

b

エ

c

エ

(各3点)

【採点方法：解答通り】

問四 配点：7点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A	どんな人間も必ず、知識の習得や、思考訓練、喜怒哀楽の経験によって形成された、
B	
C	自分なりのものの見方で世界を解釈しているということ。(64字)

【採点方法：各要素単独採点】

■形式上の不備

・文末表現 …文末が「ということ」など、「どういことか」を答える形式でなければ**1点減点**

・句点抜け …句点の抜けは**1点減点**(句点を書いてあったら字数超過だったが、句点が抜けていて字数がびったりであるものを含む)

・誤字 …明らかに文字が誤っている、もしくは乱雑すぎて読めないものは**1点減点**

・脱字 …明らかに必要な文字が抜けているものは**1点減点**

・衍字 …明らかに不要な文字が入っているものは**1点減点**

・日本語不適切…主述の呼応や文法のミスなど、日本語の表現として明らかに不適切であるものは**1点減点**

・解答未完 …答案の文章が最後まで完結していない場合、もしくは明らかに書き途中であるものは**全体不可(0点)**

■字数：56字以上70字以内

・字数不足…55字以下のものは**1点減点**

・字数超過…71字以上のものは**全体不可(0点)**

・字数超過…最終マス(70マス目)に「と。」などの二字(句点を含む)を記入しているものは**全体不可(0点)**

・字数超過…答案が解答欄の欄外にはみ出している場合は**全体不可(0点)**

■要素A どんな人間も必ず…2点

・「どんな人間も必ず」「あらゆる人間は」など、傍線部分は例外なく全ての人間に当てはまるということを示記できていれば2点。

- ・「例外なく全て」のニュアンスが表現されていない場合、要素A内で1点減点
- ・同意例…「どんな人間も必ず」「あらゆる人間は」「人間である以上は」などでも可。

■要素B 知識の習得や、思考訓練、喜怒哀楽の経験によって形成された…2点

・(要素Cが)種々の経験の積み重ねによって形成されている」ということを明記できていれば2点。

・「知識の習得」「思考訓練」「喜怒哀楽の経験」「(夥しい量の)情報を摂取・受容」に相当する、経験に言及した表現の中から二つ以上書けていて2点。一つ以下の場合、要素B内で1点

減点

- ・「形成」や「体得」といった表現がない場合、要素B内で1点減点

■要素C 自分なりのものの見方で世界を解釈している…3点

・「世界観という色メガネ」という言葉を「独自に作り上げた、世界の解釈手段」と直接的に言い換えて、「かけて生きている」という行為を説明できていれば3点。

・「世界観という色メガネ」の言い換えができていて2点。「色メガネを」かけて生きている」の言い換えができていて1点

・「世界観」という言葉を言い換えずにそのまま用いている場合は、要素C内で2点減点

- ・同意例…「自分なりの」は「独自に作り上げた」「自らの」などでも可。
- ・同意例…「世界」は「知覚した対象」「外界」などでも可。

問五 配点：10点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A	B
常識や従来の理論では説明のつかないことが現れた際に、それら乗り越えようと考えを	
C	
研ぎ澄ますことが、全く新しい見方や発想を得る契機になるから。(70字)	

【採点方法：各要素単独採点】

■形式上の不備

- ・文末表現 … 文末が「から・ため・ので」など、理由を答える形式でなければ**1点減点**
- ・句点抜け … 句点の抜けは**1点減点**(句点を書いてあったら字数超過だったが、句点が抜けていて字数がびつたりであるものを含む)
- ・誤字 … 明らかに文字が誤っている、もしくは乱雑すぎて読めないものは**1点減点**
- ・脱字 … 明らかに必要な文字が抜けているものは**1点減点**
- ・衍字 … 明らかに不要な文字が入っているものは**1点減点**
- ・日本語不適切 … 主述の呼応や文法のミスなど、日本語の表現として明らかに不適切であるものは**1点減点**
- ・解答未完 … 答案の文章が最後まで完結していない場合、もしくは明らかに書き途中であるものは**全体不可(0点)**

■字数：56字以上70字以内

- ・字数不足…55字以下のものは**1点減点**
- ・字数超過…71字以上のものは**全体不可(0点)**
- ・字数超過…最終マス(70マス目)に「ら。」などの二字(句点を含む)を記入しているものは**全体不可(0点)**
- ・字数超過…答案が解答欄の欄外にはみ出している場合は**全体不可(0点)**

■要素A 常識や従来の理論では説明のつかないことが現れた際に…3点

・創造における「矛盾」がどのようなものであるかを説明できていれば3点。

・常識や従来の理論ではうまく説明できないこと」という本文中の表現をそのまま用いて説明していてもよいし、自分の言葉で記述していてもよい。

・同意例…「これまで通用していた理屈が通用しなくなった時に」などでも可。

・不可例…「説明が不可能であること」に言及していないものは加点対象にならない。

■要素B それらを乗り越えようと考えを研ぎ澄ます…3点

・「矛盾した現状を克服しようと、考えを突き詰める・掘り下げる」といった内容を記述できていれば3点。

・「矛盾を克服しようとする」の要素が書けていて1点、「考えを研ぎ澄ます」の要素が書けていて2点。

・同意例…「乗り越えようと」「克服しようと」「打破しようと」「解決を図ろうと」などでも可。

・同意例…「考えを研ぎ澄ます」は「考えを深める」「考えを突き詰める」「よく考える」などでも可。

■要素C 全く新しい見方や発想を得る契機になる…4点

・(B)によって『矛盾』が、これまでになかった考え方をもたらすきっかけになる」ことが表現できていれば4点。

・「全く新しい見方や発想」に言及できていて2点。「契機になる」など、「機会を得る」「可能性がある」ことを表現できていて2点。

・「…ことから、新しい見方が生まれるから」としているものも許容してよい。

・「全く新しい見方や発想」は、「見方」と「発想」のどちらかのみに言及している場合でも

許容してよい。

・同意例…「全く新しい見方や発想」は、「革新的なアイデアや解釈の仕方」などでも可。

・不可例…「従来の理論を拡大して解釈する」など、旧来のセオリーから脱しきれていないように読み取れてしまい、「創造」の持つ「新しい」というニュアンスが表現しきれていない説明

は、要素C内で2点減点。

・同意例…「契機になる」は、「機会となる」「チャンスになる」「可能性を秘めている」などでも可。

問六 配点：10点

ア・エ ※順不同

(各5点)

【採点方法：解答通り】

大問二

(1) 問一 配点：9点
エ

(2) イ

(3)

ア

(各3点)

【採点方法：解答通り】

問二 配点：12点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容。

A	母に喜んでもらうために招待した温泉旅館	で	恥をかかされ、見栄が崩されたと感じて
C	苛々が募っていた	ところに、	本来は旅館で聞きたかった「美味しい」という言葉を
D	ドライブインの安いうどんに対して言われた	ことで	怒りが限界に達した
			から。(109字)

【採点方法：各要素単独採点】

■形式上の不備

- ・文末表現 … 文末が「から・ため・ので」など、理由を答える形式でなければ**1点減点**
- ・句点抜け … 句点の抜けは**1点減点**(句点を書いてあったら字数超過だったが、句点が抜けていて字数がびつたりであるものを含む)
- ・誤字 … 明らかに文字が誤っている、もしくは乱雑すぎて読めないものは**1点減点**
- ・脱字 … 明らかに必要な文字が抜けているものは**1点減点**
- ・衍字 … 明らかに不要な文字が入っているものは**1点減点**
- ・日本語不適切 … 主述の呼応や文法のミスなど、日本語の表現として明らかに不適切であるものは**1点減点**
- ・解答未完 … 答案の文章が最後まで完結していない場合、もしくは明らかに書き途中であるものは**全体不可(0点)**

■字数：88字以上110字以内

- ・字数不足 … 87字以下のものは**1点減点**
- ・字数超過 … 111字以上のものは**全体不可(0点)**
- ・字数超過 … 最終マス(110マス目)に「ら。」などの二字(句点を含む)を記入しているものは**全体不可(0点)**
- ・字数超過 … 答案が解答欄の欄外にはみ出している場合は**全体不可(0点)**

■要素A 母に喜んでもらうために招待した温泉旅館…2点

- ・「母に喜んでもらうために」「温泉旅館」に招待したことを明記できていれば2点
- ・「母に喜んでもらうために」「温泉旅館」のいずれかが記述されていない場合、要素A 1点減

点

・同意例：「母に喜んでもらうために」は「母のために」などでも可。また、「母に」という語が明確に書かれていなかったとしても、本文全体から母のために招待したことが読み取れれば可。

- ・同意例：「温泉旅館」は「温泉」「旅館」「箱根」「箱根の温泉」「箱根の旅館」などでも可。

■要素B 恥をかかされ、見栄が崩されたと感じて苛々が募っていた…3点

- ・「恥をかかされ、見栄が崩された」と感じていたことを明記できていれば3点

・同意例：「恥をかかされ、見栄を崩された」は「恥をかかされた」「見栄を崩された」「面目をつぶされた」「みじめな思いをした」などでも可。

- ・「苛々が募っていた」の有無は不問。

■要素C 本来は旅館で聞いたかった「美味しい」という言葉をドライブインの安いうどんに対して言われた…4点

- ・「美味しい」という言葉を「安いうどん」に対して言われたことを明記できていれば4点

- ・「美味しい」「安いうどん」のいずれかが記述されていない場合、要素C 2点減点

- ・同意例：「安いうどん」は「安い食事」などでも可。

・不可例：「美味しい」を「喜んで食べた」などとして、「美味しい」という語が記述されていないものは加点对象にならない。

・不可例：「安いうどん」を単に「うどん」などとして、「安い」という語が記述されていないものは加点对象にならない。

- ・「本来は旅館で聞いたかった」「ドライブイン」の有無は不問。

■要素D (C)によって) 怒りが限界に達した…3点

- ・「怒りが限界に達した」ことを明記できていれば3点

・同意例：「怒りが限界に達した」は「怒りを覚えた」「苛立ちが頂点に達した」「怒りが増した」などでも可。

問四 配点：8点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A	B
母の日に贈った口紅が母を支え続けてきたことを知り、	歳を重ねて素直な気持ちを口に
C	
できなくなった今の自分に比べて、少年だった私は母を何倍も喜ばせていた	ことに気づいた
から。(83字)	

【採点方法：各要素単独採点】

■形式上の不備

- ・文末表現 … 文末が「から・ため・ので」など、理由を答える形式でなければ**1点減点**
- ・句点抜け … 句点の抜けは**1点減点**(句点を書いてあったら字数超過だったが、句点が抜けていて字数がびつたりであるものを含む)
- ・誤字 … 明らかに文字が誤っている、もしくは乱雑すぎて読めないものは**1点減点**
- ・脱字 … 明らかに必要な文字が抜けているものは**1点減点**
- ・衍字 … 明らかに不要な文字が入っているものは**1点減点**
- ・日本語不適切 … 主述の呼応や文法のミスなど、日本語の表現として明らかに不適切であるものは**1点減点**
- ・解答未完 … 答案の文章が最後まで完結していない場合、もしくは明らかに書き途中であるものは**全体不可(0点)**

■字数：68字以上85字以内

- ・字数不足 … 67字以下のものは**1点減点**
- ・字数超過 … 86字以上のものは**全体不可(0点)**
- ・字数超過 … 最終マス(85マス目)に「ら。」などの二字(句点を含む)を記入しているものは**全体不可(0点)**
- ・字数超過 … 答案が解答欄の欄外にはみ出している場合は**全体不可(0点)**

■要素A 母の日に贈った口紅が母を支え続けてきたことを知り：3点

- ・「母の日に贈った口紅」が「母を支え続けてきたことを知った」ことを明記できていれば3点
- ・「母の日に贈った口紅」が記述されていない場合、**要素A 1点減点**
- ・「母を支え続けてきたことを知った」が記述されていない場合、**要素A 2点減点**
- ・同意例：「母の日に贈った口紅」は「一生懸命お金を貯めて買った口紅」など、「母の日」に関するエピソードが何かしら明記されているものであれば可。

・同意例：「母を支え続けてきた」は「母を支えてきた」などでも可。

・同意例：「知った」は「気づいた」「聞いた」などでも可。

・不可例：「母の日に贈った口紅」について、「口紅」に言及していないものや、単に「母に贈った口紅」などとしているものは加対象にならない。

・不可例：「母を支え続けてきた」について、「支える」という語に言及できていないものは加対象にならない。

■要素B 歳を重ねて素直な気持ちを口にできなくなった今の自分に比べて：3点

・「歳を重ねて素直な気持ちを口にできなくなった今の自分」に「比べて」という要素を明記できているれば3点

・「歳を重ねて素直な気持ちを口にできなくなった今の自分」が記述されていない場合、**要素B 2点減点**

・「比べて」が記述されていない場合、**要素B 1点減点**

・同意例：「歳を重ねて素直な気持ちを口にできなくなった今の自分」は「素直な気持ちを口にできない自分」「率直な想いを示すことができない自分」などでも可。

・同意例：「比べて」は「より」「よりも」「ほうが」などでも可。

・不可例：「歳を重ねて素直な気持ちを口にできなくなった今の自分」を「ほめられようとしている自分」などとしているものは加対象にならない。

・不可例：「今の」の有無は不問だが、明らかに現在の自分についての話をしていないものは加対象にならない。

・「歳を重ねて」の有無は不問。

■要素C 少年だった私は母を何倍も喜ばせていた：2点

・「少年だった私が母を喜ばせていた」ことを明記できていれば2点

・同意例：「少年の日の自分の素直な言動こそが母を喜ばせていた」などでも可。

・不可例：「昔の自分」が母を「喜ばせる」という要素に一方でも言及していないものは加対象にならない。

問五 配点：10点

ア・ウ ※順不同

(各5点)

【採点方法：解普通り】

問六 配点：6点

エ

【採点方法：解普通り】

大問三

問一 配点：9点

- ① ホ ② ハ ③ 口 (各3点) 【採点方法：解答通り】

問二 配点：9点 (各3点) 【採点方法：各要素単独採点】

(1)

・「定めて」を「きつと」「必ず」などと訳すことができているば、**3点**

* 「間違いなく」などの類似表現を幅広く許容する。

(2)

・「やがて」を「すぐに」「ただちに」などと訳すことができているば、**3点**

* 時間的にすぐに助けようとした、ということが表現できていれば可。「そのまま」「引き続き」といった訳は不可。

(3)

・「あさましく」を「驚くことだ」「意外だ」などと訳すことができているば、**2点**

・「て」を「(し)て」のように適切に処理できていれば、**1点**

* 「驚いて」「意外で」のように、自然に処理できていればよい。

問三 配点：3点

ね

【採点方法：解答通り】

問四

(i) 配点：8点

【採点方法：各要素単独採点】 *本設問は減点法で採点を行う

■形式上の不備

- ・誤字 .. 明らかに文字が誤っている、もしくは乱雑すぎて読めないものは1点減点
 - ・脱字 .. 明らかに必要な文字が抜けているものは1点減点
 - ・衍字 .. 明らかに不要な文字が入っているものは1点減点
- *句点の有無は問わない。

1. 「いかにして、／さる／罪人／に／は／具し／て／入り／給ひ／たる／ぞ」の各語について誤訳・脱訳があれば、それぞれにつき1点減点

* 「いかにして」は「どうして」といった疑問の意が読み取れればよい。

* 「さる」は「そのような」といった意味であるが、2で「戒律を守らない(罪人)」などと適切に補うことができている、または補おうという意図があれば、訳出していなくても構わない。

* 「罪人」はそのまま用いてもよいし、「罪のある人」や「悪いことをする人」のような表現を広く許容する。

* 「は」は訳出しなくてよい。

* 「具し」は他動詞で解釈しているものは不可。

* その他の表現に関しては、解答解説を参照の上、許容される表現を確認すること。

2. 「さる罪人」が「戒律を守らない人物である」という内容を補っていないければ、2点減点

* 「さる罪人」が「賀能知院」であることは言及していなくてもよい。

3. どこに「入り給ひたる」のかの説明として、「地獄」という内容を補っていないければ、2点

減点

(ii) 配点：5点

□

【採点方法：解答通り】

問五 配点：6点

A 二からハ

B ホから口

(各3点)

【採点方法：解答通り】

問六

(i) 配点：4点

(師の) 僧都

【採点方法：解答通り】

*丸括弧で囲まれている文字は、あってもなくてもよい。

(ii) 配点：6点

イ・ハ ※順不同

(各3点)

【採点方法：解答通り】

大問四

問一 配点：12点

- ① やま もしくは やめ
- ② こたえて
- ③ ゆえん(は) (各4点)

【採点方法：解答通り】

* 丸括弧で囲まれている文字は、あってもなくてもよい。

問二

(i) 配点：6点

老無二妻一子、死期将レ至

【採点方法：解答通り】

(ii) 配点：8点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

A	B	A
年老いても面倒を見てくれる妻子がなく、今にも死ぬ時期が迫ろうとしている		

【採点方法：各要素単独採点】

■形式上の不備

- ・誤字 … 明らかに文字が誤っている、もしくは乱雑すぎて読めないものは1点減点
 - ・脱字 … 明らかに必要な文字が抜けているものは1点減点
 - ・衍字 … 明らかに不要な文字が入っているものは1点減点
- *句点の有無は問わない。

■要素A 年老いても妻子がなく、今にも死ぬ時期が迫ろうとしている：6点

・「老無妻子、死期将至」を適切に現代語訳できていれば6点

・「年老いても妻子がなく」という内容がない場合は要素A 3点減点

・「今にも死ぬ時期が迫ろうとしている」という内容がない場合は要素A 3点減点

■要素B 面倒を見てくれる存在なく(孤独のままひとり悲しく)：2点

・「老無妻子、死期将至」を子貢が嘆かわしく思った理由を踏まえて、語句を適当に補ってあげば2点

・同意例：「面倒を見てくれる存在なく(孤独のままひとり悲しく)」は、「老無妻子、死期将至」ことを嘆かわしく思う理由として適当だと考えられる内容が補われていれば、幅広い表現を許容する。

問三

(i) 配点：6点

ゆえにたのしむことかくのごとし(と) または ゆゑにたのしむことかくのごとし(と)

【採点方法：解答通り】

* 丸括弧で囲まれている文字は、あってもなくてもよい。

* 句点の有無は問わない。

(ii) 配点：8点

■模範解答 ※各要素同意表現可。ニュアンスが正しければ許容

B	A
年老いても先立つことの未練を感じる妻子がなく、安心して死を迎えることができるから。 (41字)	

【採点方法：各要素単独採点】

■形式上の不備

- ・文末表現 … 文末が「から・ため・ので」など、理由を答える形式でなければ**1点減点**
- ・句点抜け … 句点の抜けは**1点減点**（句点を書いてあったら字数超過だったが、句点が抜けていて字数がぴったりであるものを含む）
- ・誤字 … 明らかに文字が誤っている、もしくは乱雑すぎて読めないものは**1点減点**
- ・脱字 … 明らかに必要な文字が抜けているものは**1点減点**
- ・衍字 … 明らかに不要な文字が入っているものは**1点減点**
- ・日本語不適切 … 主述の呼応や文法のミスなど、日本語の表現として明らかに不適切であるものは**1点減点**
- ・解答未完 … 答案の文章が最後まで完結していない場合、もしくは明らかに書き途中であるものは**全体不可（0点）**

■字数：36字以上45字以内

- ・字数不足 … 36字以下のものは**1点減点**
- ・字数超過 … 45字以上のものは**全体不可（0点）**
- ・字数超過 … 最終マス（45マス目）に「ら。」などの二字（句点を含む）を記入しているものは**全体不可（0点）**
- ・字数超過 … 答案が解答欄の欄外にはみ出している場合は**全体不可（0点）**

■要素A 妻子がなく死を迎える…5点

- ・「老無妻子、死期将至」を適切に組み込めていれば5点
- ・「妻子がなく」という内容がない場合は要素A 3点減点
- ・「死を迎える」という内容がない場合は要素A 3点減点

■要素B 妻子を残して先立つことの未練…3点

- ・「老無妻子、死期将至」を憂いとしないうる適当な理由を説明していれば3点
- ・同意例：「妻子を残して先立つことの未練」は、「妻子に面倒をかけることなく」「誰にも心配させることもなく」など、「老無妻子、死期将至」ことを嘆かわしく思わない理由として適当だと考えられる内容が表現できていれば、幅広い表現を許容する。
- ・必ずしも「妻子」に限定した説明でなくてもよい。
- ・「人が憂いとすることを楽しめる」のような説明に終始している場合、要素B 1点減点

問五 配点：10点

イ・カ ※順不同

(各5点)

【採点方法：解答通り】